



2020年度



日本学生支援機構奨学金 説明資料

大学院生

2020年4月

琉球大学 学生部 学生支援課 奨学係

大学院学生の奨学金申込について（留意点）

- (1) 日本学生支援機構は、経済的理由により修学に困難がある優れた学生に学資として奨学金を貸与します。**本奨学金の貸与後は返還の義務があります。**返還された奨学金は、後輩学生の奨学金に活用される仕組みになっています。
- (2) 大学院生の奨学金申請手続きで学部学生との主な相違点は次のとおりです。
 ◎「家計」は、父母等の年収ではなく、申請者本人の年収を基準とします。
 ◎アルバイト収入等について、昨年（2019年分）と本年（2020年分）に変動がある場合は、両年分についての年収額を確認します。
 ◎なお、配偶者がいる場合は、配偶者の定職収入に限り確認します。
 ◎大学院は「特別控除」の制度は適用されません。
- (3) 「長期履修学生」として研究科で認められた学生は修業年限等の確認が必要となりますので申し出てください。貸与期間を確認します。
- (4) 大学院生の「第一種奨学金」については、在学中に特に優れた業績を上げた場合は、返還額の一部又は全額が免除される制度があります。
 在学中、自らの学業・研究活動等を活性化することにより認められる制度なので、希望者は対象となる業績等をHPで確認してください。
 学生部HP（奨学金）<http://www.jim.u-ryukyu.ac.jp/std/gakuseika/syogaku/index.htm>
 ※博士課程・第一種奨学金を貸与している学生は、入学年度に「採用時返還免除内定候補者制度」があります。詳細は学生部HP(奨学金)で確認してください。
- (5) 「個人情報情報の取扱いについて」
 日本学生支援機構は「個人情報情報機関」に加盟しており、奨学金申込み時に**「個人情報」の登録・提供に同意する必要があります。**奨学金返還を延滞した場合、個人情報^が他の金融機関等に提供され、ローンやクレジットカードの利用ができなくなることがあります。また、延滞が長引く場合は、法的措置がとられ、財産が差し押さえされます。
- (6) 提出書類は「期限厳守」です。
 日本学生支援機構への手続きの日程上、申込書類の配付から提出(受付)までの期間が非常に短くなっています。特に県外出身者は、必要な証明書類の取り寄せ等の準備は早めに行ってください。
- (7) 学生支援課で取扱う日本学生支援機構の奨学金は日本人学生を対象としています。
 外国人留学生対象の奨学金については国際教育課で担当しています。
 また、留学ビザ以外の外国人学生については対象となる場合がありますのでお問い合わせください。

《問い合わせ先》 琉球大学 学生部 学生支援課 奨学係

〒903-0213 西原町字千原1番地

tel. 098-895-8136 fax. 098-895-8128

Eメール gksygsn@acs.u-ryukyu.ac.jp



《奨学金に関するWEBページ》

学生部HP（奨学金）（学内限定アクセス）QRコードからも入れます。

<http://www.jim.u-ryukyu.ac.jp/std/gakuseika/syogaku/index.htm>

日本学生支援機構HP

<http://www.jasso.go.jp>

奨学金の申込み手続き

I 配付資料確認

- ① 「2020年度奨学金案内 奨学金を希望する皆さんへ」(パンフレット)
※綴じ込み資料あり。紛失しないよう注意すること。
- ② 2020年度 日本学生支援機構奨学金説明資料(本資料)

II 奨学金の概要・種類

※「2020年度奨学金案内 奨学金を希望する皆さんへ」(パンフレット)

で確認すること。

- ① 奨学金月額等 …「第一種奨学金(無利子)」、「第二種奨学金(有利子)」別に設定。
*第二種奨学金の金利の種類:「利率固定方式」又は「利率見直し方式」のいずれかを選択する。
- ② 奨学金の申込区分 …スカラネット入力下書き用紙「G-奨学金申込情報」(1)～(11)に区分
- ③ 併用貸与 …申込区分(4)～(7)
第一種及び第二種両方の貸与を受ける場合は、返還総額が多額となるので慎重に。
- ④ 入学時特別増額(有利子貸与)
※入学時特別増額のみでの単独申請は不可(奨学金と併せて申込む。)
※入学時特別増額を二重に申し込むことはできません。(併用希望者の場合)
- ⑤ 奨学金の申込み条件
過去に他の大学院に在籍し、日本学生支援機構奨学金の貸与を受けた者が、同一課程の大学院に再度入学した場合、今回、希望する奨学金は貸与期間に一定の制限がありますので、学生支援課奨学係担当者に確認してください。
(例)法務研究科入学前に修士課程で奨学金を貸与していた場合等が該当。
※現在、留年中の者は申込み資格がありません。
- ⑥ 家計基準
本人及び配偶者(配偶者は定職収入がある場合のみ)の2019年分(1～12月)の収入金額が、所定の収入基準額以下であることが必要

社会人学生(社会人経験者含む)、配偶者(定職者)がいる学生、医学研究科学生(医師)等は収入基準額について、特に留意してください。

年間をとおしてアルバイトなどがほとんどない場合等は「父母等からの給付額」、「奨学金」、「預貯金の取り崩し」等についても確認します。

◎自宅通学者(=父母と同居)の場合、年間の家族全体の食費や生活費のうち、本人分の概算額も「父母からの給付額」に含めます。授業料や入学金等も親が支払っていれば、父母からの給付に含めます。

Ⅲ 申込書類一覧

No.	書 類	備 考
1	奨学金申込用チェックシート	本冊子「奨学金説明資料」の最後尾にあり。チェックしてから提出。
2	確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書	
3	指導教員推薦所見	併用希望者は2部提出すること。(併願希望者は1部提出) 指導教員の署名と押印はコピー不可。2部提出する場合、指導教員が所見を記入したものをコピーした後に指導教員の署名と押印してもよい。様式の電子ファイル(エクセル)は、学生部HPの奨学金に掲載。
4	スカラネット入力下書き用紙(記入済)のコピー(原本同様にA3サイズで両面コピー)	原本も持参すること。本人住所は住民票のとおり記入。人的保証を選択する人は、連帯保証人と保証人の住所は印鑑登録証明書のとおり記入。
5	「申請者本人」,「配偶者(定職者のみ)」の収入を証明する書類	「Ⅶ.収入(無収入)を証明する書類について」を参照
6	収入計算書	* 授業料(年間54万)+生活費の支出総額を算出して、その金額の出所を収入として記入する。(法務研究科は授業料年間80万円) * 前期授業料免除が承認された人は、実際に支払った前期分の授業料と後期に支払う予定の金額の合計を授業料として計算する。 * 現在申込み中の奨学金は、貸与できない場合もあるので、見込で記入しない(奨学金→0円)
7	アルバイト等収入状況申立書(様式2)	無職の者でも提出必要
8	大学院奨学金申請者学業成績確認票(様式4)	本人記入欄1.~5.を記入
9	奨学金を振り込む口座の通帳のコピー	銀行名(番号)、支店名(番号)、口座番号、名義が確認できる部分のコピー ※「農協」や休眠口座は振込み不可
10	日本学生支援機構奨学金の奨学生証等のコピー(該当者のみ)	現在貸与中または過去に借りた日本学生支援機構の奨学金の奨学生番号が記載されている奨学生証や返還確認票等のコピー(該当する全ての奨学生番号)
11	地方創生枠推薦決定通知のコピー(該当者のみ)	地方創生枠基金団体から推薦された者のみ提出する。

IV 申込書類提出期間・場所

《提出日》

4/14 (火)	人文社会科学・観光科学・法務研究科
4/15 (水)	人文社会科学・観光科学・法務研究科
4/16 (木)	理工学研究科(理学系・工学系)
4/17 (金)	理工学研究科(理学系・工学系)
4/20 (月)	教育学・農学・医学・保健学研究科
4/21 (火)	教育学・農学・医学・保健学研究科

《受付時間》

9:00~16:30

《場所》

共通教育棟1号館1階 学生支援課会議室

※所属研究科の指定日が都合悪い場合は、期間内の別の日に提出して構いません。

※全ての書類が揃っていない場合でも提出できる書類を期限までに提出してください。不備書類の提出期限は改めて設定します。

※事前に連絡をせずに遅れた場合は受けません!!

V インターネット入力期限

申請書類を確認後、不備がなければパスワードを配付します。

パスワードを受け取り、日本学生支援機構のスカラネット入力画面にアクセスし、「スカラネット入力

下書き用紙」に記入した内容を入力することで手続きが完了します。

2020年4月30日(木)までに入力してください。

入力画面 <https://www.sas.jasso.go.jp/scholarnet/>

※奨学金申込専用



VI 採用決定通知

各研究科の掲示板及び学生支援課の掲示板にて、7月上旬頃通知します。採用決定者には「採用説明会」の案内をWebメール宛にも送付しますので、Webメールを通常利用しているメールに転送設定する等して、案内を見逃さないようにしてください。

WebメールのログインページのURL:<https://webmail.cc.u-ryukyu.ac.jp/cgi-bin/index.cgi>



Ⅶ 収入（無収入）を証明する書類について

※「申請者本人」及び「配偶者（定職収入がある場合のみ）」について提出する。

※証明書類等は、A4サイズにコピーして提出してください。（原本は保管しておく）

※勤務の形態や収入の種類等によっては、以下の書類以外も提出を求める場合があります。

※証明書類は、マイナンバーの記載のないものを提出。記載されている場合は、見えないように黒で塗りつぶすこと。

	収入区分等		提出書類		発行所等
	申請者本人	配偶者	2019年1月～12月分	2020年1月～	
1	給与所得者（定職・1年間を通して勤務したアルバイト）		2019年分源泉徴収票 ※アルバイトや海外勤務で源泉徴収票がない場合は、給与（支払）証明書（様式1-1）	* 転・退職等で、2019年分と変動（増減）がある場合は、2020年1月以降についても提出してください。給与の場合は給与（支払）証明書（様式1-2）を提出する。 【例】2020年2月にアルバイトを始めた場合、2020年2月～2020年12月の給与（支払）証明書を提出する。	勤務先
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 給与所得者以外 ・ 商工業、個人経営者等の事業主 ・ 農林水産業従事者 ・ 自由業等（弁護士、開業医、税理士等） <ul style="list-style-type: none"> ● 2か所以上から給与を得たため、確定申告をした給与所得者 		① 確定申告書（控）（2019年1～12月分：税務署の受付印のあるもの）または② 市（町村）県民税申告書（控）（2019年1～12月分） ※ 確定申告書に受付印がない場合は、所得証明書又は課税証明書、納税証明書その2を添付する。電子申告をした場合は、「申告内容確認票」に「受付結果」または「即時通知」を添付する。		市役所 又は 税務署
3	日本学生支援機構奨学金、その他の奨学金		奨学生証・貸与額通知書等（金額、支給期間等が記載されたもの）		
4	雇用（失業）保険受給者		雇用保険受給者証の表・裏面（支給期間・金額記載）		ハローワーク
5	預貯金の取り崩し等		収入計算書に記入 ※ 収入が少ないため、支出の不足額を預金から取り崩している場合		
6	父母等からの給付額		収入計算書に 父母の署名と押印 ※ 日常生活における金銭物品、授業料・通学費等、本人に代わって父母等が支払った金額 ※ 日常生活費（食費・住居費・光熱費等）については、世帯全体の年間経費を家族数で割ったものを本人への年額給付額とみなす。		
7	資産等 ・ 預貯金 ・ 有価証券 ・ 宅地、農地、山林・建物等		確定申告書（控）等 ※ 経常的収入（利子、配当、賃貸料等）がある場合		税務署
8	各種手当（児童扶養手当、児童手当など）		各種手当を受給している場合は、支給決定通知書等、金額や支給期間がわかるもの。		市役所等
9	2019年1月以降に退職した者		退職証明書、退職の辞令、退職時に交付された源泉徴収票（退職年月日記載）など		元勤務先

Ⅷ 「返還誓約書」に係る入力項目について

《重要》「返還誓約書」とは

奨学金は貸与です。みなさん自身が責任を持って確実に返還することを約束するための書類として「返還誓約書」があります。奨学生として採用後に「返還誓約書」を全員提出することになっています。「返還誓約書」は、採用後に奨学金の「採用説明会」で配付しますので、採用されたら、採用説明会に必ず参加してください。採用結果や採用説明会の開催日については、掲示板やWebメールでお知らせしますので、毎日掲示板を確認してください。採用されても**期限までに「返還誓約書」を提出しない場合は、振込済額を全額返済した上で、奨学金の採用が取り消されます。**

今回の奨学金申込みで、スカラネット入力をするにより、返還誓約書等のデータ（記載内容）が作成されます。入力に間違いがあるとエラーになり、次の画面に進めませんので、事前に入力項目を確認の上、スカラネット下書き用紙に正確に記入し、入力をしてください。

人的保証の場合は、「返還誓約書」に奨学生と連帯保証人、保証人に関する情報が印字されます。

＜「返還誓約書」関連の各項目の記入・入力の注意点＞

「保証制度」は、次の二種類のうち、いずれかを選択する。

- (1) 「人的保証」・・・連帯保証人及び保証人を選任。奨学生本人が奨学金を返還できない場合に代わって返還します。
- (2) 「機関保証」・・・「人的保証」に代えて毎月の奨学金から一定の保証料を支払うことによって保証される。（保証料の目安を確認すること）

※「人的保証」を選択する場合は、連帯保証人及び保証人に貸与総額を提示し、事前に承諾を得てください。連帯保証人及び保証人を引き受けてもらえない場合は、「機関保証」を選択してください。

※採用後は、保証人等や、保証制度（機関保証から人的保証へ）の変更は認められません。

※併願・併用者はそれぞれ同一の保証制度で申込むこと。（例、第一種は人的、第二種は機関保証と異なる選択はできない）

「人的保証」を選択する場合

- ① 連帯保証人・保証人に選任できるのは次の場合です。

連帯保証人	<p>※父又は母とする。 ※父母がいない場合は「きょうだい」「おじ・おば」等、4親等以内の親族とする。 ※本人が貸与終了時に満45歳を超える場合の連帯保証人は、貸与終了時に満60歳未満の人でなければならない。</p>	下記の者は、連帯保証人・保証人に選任できません。
保証人	<p>※<u>父母を除く</u>4親等以内の親族…「きょうだい」「おじ・おば」等で本人・連帯保証人と「別生計」で65歳未満の人 ※本人が貸与終了時に満45歳を超える場合の保証人は、貸与終了時に満60歳未満の人でなければならない。</p>	*未成年者 *現在、学生である者 *本人の配偶者 *破産または債務整理中の者

- ② 連帯保証人及び保証人の住所は印鑑登録証明書に記載された住所を入力すること。

*人的保証を選択された場合は、返還誓約書を提出する際（8月頃）に連帯保証人及び保証人の「印鑑登録証明書」、連帯保証人の収入に関する証明書の添付も必要になります。

「機関保証」を選択する場合

- ① 本人以外の連絡先…父又は母等の連絡先を記入（住民票の住所と郵便番号を事前に確認すること。）

記入見本

指導教員推薦所見

2020年 4月 9日

大学名	琉球大学		
研究科	専攻	氏名	学籍(学生証)番号 未定の場合は未記入可
理工学研究科	機械システム工学	琉大 一郎	208500A
課程(該当の数字に○)	1. 修士・博士前期課程 2. 博士後期課程 3. 博士医・歯・獣医学課程 4. 法科大学院		

指導教員氏名

千原 太郎

千原

印

[推薦所見]

※指導教員の署名と印鑑は、データ入力不可。必ず自署してください。

日本学生支援機構奨学生推薦基準に照らし、大学院奨学生としてふさわしい者であるとする所見を記入してください。

ご記入いただいた情報は、奨学金貸与事業(返還業務を含む)のために利用されますが、その他の目的には利用されません。

- ※1 学校奨学金事務担当者から指導教員に依頼してください。
- ※2 併用貸与の場合は2部提出してください。指導教員の署名・押印部分はコピー不可です。
- ※3 別紙に推薦所見を記入する場合には、本紙の推薦所見欄に「別紙のとおり」と記入した上で、当該欄以外を全て記入(指導教員の署名・押印コピー不可)した本紙に別紙を添付して提出してください。

推薦手続を円滑に行うため、ご自身で指導教員へ依頼して他の提出書類と一緒に提出してください。

※定職または週21時間以上のアルバイトに従事している者は、研究に支障がない旨記入してください。

学校番号						区分
1	0	9	0	1	1	

指導教員推薦所見

年 月 日

大 学 名			
研 究 科	専 攻	氏 名	学籍(学生証)番号 未定の場合は未記入可
課程(該当の数字に○)	1. 修士・博士前期課程 2. 博士後期課程 3. 博士医・歯・薬(4年制)・獣医学課程 4. 法科大学院		

指導教員氏名

印

〔推 薦 所 見〕

日本学生支援機構奨学生推薦基準に照らし、大学院奨学生として
ふさわしい者であるとする所見を記入してください。

ご記入いただいた情報は、奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されますが、その他の目的には利用されません。

- ※1 学校奨学金事務担当者から指導教員に依頼してください。
- ※2 併用貸与の場合は2部提出してください。指導教員の署名・押印部分はコピー不可です。
- ※3 別紙に推薦所見を記入する場合には、本紙の推薦所見欄に「別紙のとおり」と記入した上で、当該欄以外を全て記入(指導教員の署名・押印コピー不可)した本紙に別紙を添付して提出してください。
- ※4 外国語で記入した場合は別紙に日本語訳を添付し、日本語訳を作成した方の身分(○○学校)・署名を記入し提出して下さい。

※ 勤務先の源泉徴収票等が発行できない場合、この様式を使用してください。
(複数枚提出する場合は、コピーして使用してください)。

(大学院様式1-1)

給与支払証明書(2019年1月～12月分)

奨学金申請者	研究科名	
	学籍番号	
	氏名	

琉球大学へ奨学金を申請するため、給与受給状況について証明願います。

記

受給者氏名		奨学金申請者との続柄 (どちらかに○)	本人 ・ 配偶者等
採用年月日	(西暦) 年 月 日	退職年月	(西暦) 年 月 日
雇用形態	<input type="checkbox"/> 正規職員	<input type="checkbox"/> 非正規職員()	
年間収入 (見込)額	(西暦) 2019年 月 日 ～ 2019年 月 日 (12ヶ月)		
	年間 円		
	税込みの金額(源泉徴収票の支払い金額に相当する金額)を記入してください。		

※ 年間収入額は、2019年1月～12月中の支払い金額を記入してください。

上記のとおり証明します。

証 明 日(西暦) 年 月 日

住 所

事 業 所 名

証 明 者 氏 名

印

TEL.

【問合せ先】琉球大学学生部学生支援課奨学係 TEL. 098-895-8136

※ 勤務先の源泉徴収票等が発行できない場合、この様式を使用してください。
(複数枚提出する場合は、コピーして使用してください)。

(大学院様式1-2)

給与支払(見込)証明書(2020年1月～12月分)

奨学金申請者	研究科名	
	学籍番号	
	氏名	

琉球大学へ奨学金を申請するため、給与受給状況について証明願います。

記

受給者氏名		奨学金申請者との続柄 (どちらかに○)	本人 ・ 配偶者等
採用年月日	(西暦) 年 月 日	退職年月	(西暦) 年 月 日
雇用形態	<input type="checkbox"/> 正規職員	<input type="checkbox"/> 非正規職員()	
年間収入 (見込)額	(西暦) 2020年 月 日 ～ 2020年 月 日 (2020.1月～12月)		
	年間 円		
	税込みの金額(源泉徴収票の支払い金額に相当する金額)を記入してください。		

※ 年間収入額は、2020年1月～12月中の支払い(見込)金額を記入してください。

上記のとおり証明します。

証 明 日(西暦) 年 月 日

住 所

事 業 所 名

証 明 者 氏 名

印

TEL.

【問合せ先】琉球大学学生部学生支援課奨学係 TEL. 098-895-8136

アルバイト等収入状況申立書

琉球大学長 殿

(西暦) 年 月 日

研究科名 : _____

専攻名 : _____

申請者氏名(署名): _____

学籍番号: _____

奨学金の申請にあたり、私のアルバイト等の収入状況は、下記のとおりです。

1. 前年の状況

①私は2019年1月～12月の間にアルバイト等をして (いる ・ いない)

②アルバイト等の収入内容は次のとおりです。

アルバイト先	職業(内容)	週あたり時間	年間受給総額	勤務期間
計				

2. 当年の状況(出願時以降の予定も含む)

①私は2020年1月～12月の間はアルバイト等をして (いる ・ いない)

出願時現在アルバイト等をして (いる ・ いない)

②アルバイト等の収入内容は次のとおりです。

アルバイト先	職業(内容)	週あたり時間	年間受給総額	勤務期間
計				

* 2019年分の源泉徴収票、確定申告書の控、給与証明書等を提出する。

* 2020年から始めたアルバイト等については、給与見込証明書等を提出する。

* 申込み書類を提出後に、当年の状況が変更になる場合は、速やかに申し出ること。

大学院奨学金申請者学業成績確認票

(2020年度)

1. 申請者氏名 :
2. 学籍番号 :
3. 年 次 : () 年次
4. 研究科名 : ()研究科 ()専攻
5. 学 種 : 修士・博士前期 博士・博士後期 専門職大学院

.....

< 大学院記入欄 >

6. 学 力 : * 該当する箇所を○で囲んでください

上記の者の学力について

{

 ア. 大学の学業成績
 イ. 大学院入学試験等の成績
 ウ. 大学院の学業成績

により,
}

A. 第一種奨学金

B. 第二種奨学金

を(適 ・ 不適)と認めます。

< 参 考 >

日本学生支援機構の学力基準		
区分	第一種又は併用 学力基準	第二種 学力基準
専 門 職 大 学 院 前 期 課 程 修 士 ・ 博 士 前 期 課 程	大学等・大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動できると認められること。	①大学等・大学院における成績が優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動できると認められること。 ②大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること。
博 士 （ 医 学 博 士 研 究 科 後 期 含 む 課 程 ）	大学・大学院における成績が特に優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動できると認められること。	①大学・大学院における成績が優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動できると認められること。 ②大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること。

④	収入を証明する書類	<input type="checkbox"/>	給与支払証明書(大学院様式1-1)		
		<input type="checkbox"/>	退職証明書(大学院様式3) ※収入金額が記載されている書類と合わせての提出		
		<input type="checkbox"/>	所得証明書(定職の者のみ)		
		<input type="checkbox"/>	その他 (書類の名称)		
		本年の収入証明書			
		<input type="checkbox"/>	給与支払見込証明書(大学院様式1-2) ※前年の途中から勤め始めて、本年も引き続きしている場合も発行が必要な書類です(定職の方も同じ)		
		<input type="checkbox"/>	給与明細書(直近3か月分) ※給与支払見込証明書(大学院様式1-2)が提出できない場合は、給与明細書可		
		<input type="checkbox"/>	退職証明書(大学院様式3) ※申込時点で辞めている場合は、退職証明書が必要です。		
<input type="checkbox"/>	その他 (書類の名称)				
⑤	配偶者の収入を証明する書類	あなたが添付した書類にチェックしてください。(コピーはA4サイズに統一する)			
		<input type="checkbox"/>	源泉徴収票(写) (年分)		
		<input type="checkbox"/>	確定申告書(控)の写(税務署の受付印のあるもの) (年分)		
		<input type="checkbox"/>	退職証明書(大学院様式3) (年分)		
		<input type="checkbox"/>	その他(その書類の名称)		
⑥	「大学院奨学金申請者学業成績確認票」(様式4)				
	<input type="checkbox"/>	あなたの氏名・学籍番号・学種等に記入もれはないですか。			
⑦	通帳のコピー				
	<input type="checkbox"/>	本人名義の通帳のコピーに銀行名、店名、口座番号、名義が記載されていますか。			
⑧	日本学生支援機構の奨学生証書等のコピー(該当者のみ)				
	<input type="checkbox"/>	現在貸与中または過去に借りていた奨学生番号が分かるものを準備 ・奨学生証書 ・返還確認票 ・貸与額通知書 ・スカラネットパーソナル(詳細情報画面) ※過去に他大学・大学院で奨学金を貸与していた場合は、教えて下さい。再貸与の適用可否を確認します。			